

さやまジャーナリスト発見シリーズ

八幡神社 の 鹿子舞



狭山市の八幡神社の鹿子舞は、約300年の歴史を持ち、室町時代から続いていると伝えられています。

今年の鹿子舞は、9月10日（土）と11日（日）の2日間、八幡神社と及び旧入間川地域社寺で奉納されました。

写真の鹿子舞は白山神社での奉納舞の様子です。

8020推進財団(<http://www.8020zaidan.or.jp/>)より

狭山発見シリーズ 鹿子舞の話

発行日：平成28年10月1日
発行：さやま市民大学まちづくりコース
地域ジャーナル講座1期生

指導講師：澤野 久美子
事務局：さやま市民大学
〒350-1304

埼玉県狭山市狭山台1-21 狭山元気プラザ内
電話 04 (2968) 6885
FAX 04 (2959) 2785



制作・地域ジャーナル学科

坂本比佐夫

白山神社の鹿子舞



★入間川八幡神社 鹿子舞

鹿子舞の起源については、その昔、唐の時代に起こった雅楽の中に太平楽というものがあり、これより変化したものであるといわれ、今から千有余年前のこのようです。

★ 鹿子舞発祥の由来

鹿子舞発祥の伝説については、一つは後嵯峨天皇のころ遷都の御会を催された折、空が曇り地が 鳴り響き、落雷とともに一大音響がして、天竺国より落下した獅子頭からこの舞が起こったといわれます。

又、他の説には「武蔵の山岳地方に住む鹿猪であった鹿猪の頭であり、鹿猪は農作物を荒らすため神社にあっては鹿猪の頭を飾り供え物をささげ、いわゆる荒神除けを行ったものがその始まりであるといわれます。